

JILPT 調査シリーズ

No. 39

2007年12月

# ハローワーク来所者の求職行動に関する調査

The Japan Institute  
for  
Labour Policy and Training

独立行政法人 労働政策研究・研修機構



# ハローワーク来所者の求職行動に関する調査

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

The Japan Institute for Labour Policy and Training

## まえがき

長期不況に悩まされた日本経済も、2002年を底として景気回復過程に転じ、雇用情勢も好転しつつある。完全失業者 359 万人、完全失業率 5.4% という 2002 年の最悪の状況から脱し、最近では有効求人倍率も 1 倍を超え、大都市圏を中心として人手不足の状況に転じている。

こうした中で、フリーターやニートといった若年不安定就業者・無業者が、依然としてかなりの規模で存在し、加えて就職氷河期に卒業して不本意な就職をした若者の間に、転職意識が高まってきている。また、バブル経済崩壊後の不況過程でリストラの標的とされた中高年者も、就職件数や雇用者の増加傾向こそ見られるものの、再就職に関しては依然として厳しい状況に置かれている。

人手不足が顕在化した労働市場では、求人と求職が共に増加し、ミスマッチも拡大することが予想される。求人の充足率と求職者の就職率を高めるためには、人手不足という売り手市場の下では、求職者がいかなる求職活動をし、どのような情報を欲しがっているのかを解明し、それを職業紹介機関や求人企業にフィードバックする必要がある。

こうした問題意識から当機構では、ハローワーク（公共職業安定所）に来所した求職者を対象として、求職活動の実態や入手したい職業情報を解明するために、アンケート調査を実施した。本報告書は、アンケート調査の分析結果をとりまとめたものである。

なお、本調査研究は、当初厚生労働省職業安定局からの要請によって、求職者が時間の経過と共に再就職するグループ、長期失業者になるグループ、再就職を諦めて非労働力化するグループに分化していく過程を、3～5 年の期間において追跡調査（パネル調査）をする計画であった。しかしながら、調査時期が個人情報に対する意識の高まり、情報流出事件が社会問題化したといったこともあって、パネル調査に対する協力者が極めて少なく、調査の継続が実質的に難しくなったという事情があった。

従って、本報告書は、求職活動を一時点のみで断面的に分析することにとどまっている。なお、長期失業者の求職活動に関しては、調査シリーズ No.22「長期失業者の求職活動と就業意識」としてとりまとめているので、本報告書と併せて参考にして頂ければ幸いである。

調査の実施に際しては、新宿、池袋、墨田、大森、足立の各ハローワークに協力を得ることができた。本報告書を取りまとめることができたのも、ハローワークの方々の協力によるものである。協力していただいた方々に、感謝する次第である。

2007 年 12 月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構  
理事長 稲 上 毅

執筆担当者

氏名	所属
----	----

伊藤 実	労働政策研究・研修機構 統括研究員
------	-------------------

## 目 次

第1章 調査研究の目的・方法と分析結果の概要 .....	1
第1節 調査研究の目的 .....	1
第2節 調査研究の方法 .....	1
第3節 分析結果の概要 .....	2
第2章 求職者の属性 .....	5
第1節 男女・年齢・学歴別構成 .....	5
1. 男女・年齢別構成 .....	5
2. 学歴別構成 .....	5
3. 家族構成 .....	6
第2節 職業経歴 .....	7
1. 正社員・非正社員経歴 .....	7
2. 最長勤務企業の属性 .....	8
第3章 求職行動の実態 .....	11
第1節 失業・在職状況と求職理由 .....	11
1. 失業・在職状況 .....	11
2. 離職・求職理由 .....	11
第2節 求人情報の収集 .....	13
1. 再就職・転職時期と求人情報の収集先 .....	13
2. インターネット検索の利用実態 .....	16
第3節 職業相談・カウンセリング .....	19
1. 受講状況 .....	19
2. 職業相談やカウンセリングの有用性 .....	20
第4章 就職活動の実態 .....	23
第1節 再就職希望条件 .....	23
1. 希望条件の緩和 .....	23
2. 希望賃金額 .....	25
3. 希望する職種・仕事内容 .....	27
4. 正社員へのこだわり .....	29
第2節 応募と面接の実態 .....	30
1. 応募・面接回数 .....	30

2. 面接での自己アピール .....	31
第3節 再就職への対応 .....	33
1. 求職活動における障害 .....	33
2. 改善が必要な職業情報 .....	36
3. 再就職への対応 .....	38
4. キャリア戦略の必要性 .....	40
付属資料	
1. アンケート調査票 .....	45
2. クロス集計表 .....	55